

平成28年4月12日

No.142

〈新年度〉

4月、企業・学校で新年度に入り、真新しいスーツ、制服の新入社員、学生の姿をみます。姿をみただけで、清々しく、私達を新たな気持ちにさせて頂きます。期待と不安、ワクワクします。誰れもが、夢を持ち、目標を立てと思いますが、なかなか、その通りには、いきません。私自身も進学の失敗、不安だらけの新入社員でありました。夢も目標も何もありませんでした。与えられたことをただやるだけで精一杯だった気がします。1、2年は仕事に行き帰り、休むだけでした。何もなく月日に過ぎていった気がします。先輩から職場の状況、待遇、将来のことを聞いたり、話したりして、このままでは将来豊かに暮らすことはできない、何か目標も立て自ら行動しなければと気付いた気がします。子供の時から夢を持ち目標を立て集中してきっちりやる子もいますが、気付いた時に夢を持ち、目標を立て行動するところが一番大事だと思いつく。「このままだとダメだと思い出した時、考え行動する。そして続ける。行動、続ければ、変わっていく。また、戻り、気づく、考え、行動し続ける。この繰り返しかと思いつく。自分の役割りは何か、何をすれば社会の役に立つことができるか、自分も幸せになることができるか、役割りは誰れにもある。

日経トピックス4月号伊那食品工場、越寛会長「100年カレンダー、人生って長、おうで、実はあ、という間なんだ。こう人生のほかほかを感じてもらうことが100年カレンダーを見せる最大の狙いです。『一度割の短い人生なのだから、みんなが幸せになるべき。そのために自分ができることをしよう』と自覚してほしい。その人の生き様が変わるきっかけを与えたいのです。」

新年度「新たな気持ちで仕事に取り組もう！」

高林 幸裕